

WAZAI

Materials

日本の素材、技術、意匠

AMPLITUDE KYOTO

京都アンプリチュード株式会社

〒604-0053

京都市中京区御池通堀川東入森ノ木町208-2

mail : info@amp-kyoto.co.jp

tel : 075-286-8815

web : www.amp-kyoto.co.jp



WAZAI

Materials

日本の素材、技術、意匠

日本の職人技が生む、新たな素材の表情

日本人は古来より自然が提供してくれる美しい素材を加工し、
その特徴を生かして、生活に必要な数々の道具や装飾を産み出してきました。
こうした技や知恵は職人達によって脈々と引き継がれ、
いつの時代にもその時代に合った新しい価値を生み、
日本独自の洗練されたものづくりの文化を形成してきたのです。

WAZAIは今一度、現代の生活空間を引き立てる日本の素材や意匠に注目し、
日本ならではの職人技を生かした、新しいインテリア素材・商品を提案します。



CONTENTS

WAZAIとは 3

WORK FLOW 4

WAZAI materials

BAMBOO / 竹 5

WOOD / 木 9

CERAMIC / 陶 13

LACQUER / 漆 17

WASHI PAPER / 和紙 21

FABRIC / 織・染 25

SILVER&GOLD / 金銀糸・箔等 29

WALL PAPER / 壁紙 33

ART WORKS / 工芸アート 37

INNOVATION / 革新 41

WAZAIとは

千年の都、京都。

WAZAIとは、その伝統と文化に根差した多くの素材、技術、意匠のアーカイブです。

長きにわたり、京都は日本文化、芸術が創造される中心地であり、同時に国内外への発信地としての役割も担ってきました。

悠久の歴史の中で、審美眼の鋭い顧客の多様な要望に応えるべく、職人達は最高の素材を吟味し、極限まで磨かれた技術を用いて、至高の意匠を生み出して来ました。

自然と共生しながら持続的発展を遂げてきた、日本文化の衣、食、住。各分野の匠が長年培って来た、これら貴重な伝統的資源や財産を、現代社会の中で、どのように後世に伝えて行くのか。

「伝統」とはある日突然生まれるものではありません。先達の知恵を受け継ぎながら、その時代の要望に合わせて革新を起こし、時代の変遷と共に変容を続け現代に至る、長い変革の系譜を「伝統」と呼ぶのではないのでしょうか。

WAZAIでは、伝統を受け継ぎながら革新に挑戦し、今を生きる人の生活に、自然素材と伝統意匠の美しさと、文化的価値をお届けします。



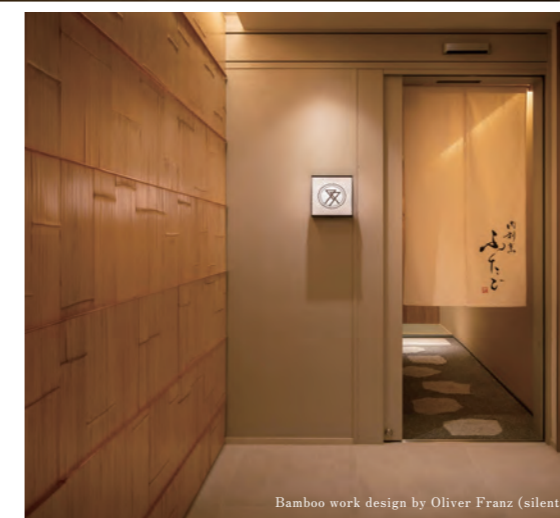
WORK FLOW



BAMBOO

竹

繊細さと強靭さを兼ね備え、優れた自然素材である竹。古くから籠やざる等の様々な道具として、又、生垣や建材、内装材など多様な用途で私達の生活に根付いてきました。吸熱性と吸湿性があり、肌触りがよく、冬は暖かく夏は涼しいエコロジーな素材としても注目されています。また防菌効果や消音効果もあり、機能性に富んでいます。竹が持つ柔軟で、凛とした質感は、シンプルでエレガントな雰囲気を醸し出し、繊細な細工から迫力ある造作まで作り出すことができます。竹は視覚性にも機能性にも優れた万能素材です。



日本のサステナブル素材

繊細さとダイナミズムで空間を構成する。

日本文化を育んだ素材とも言え、その使用の歴史は縄文時代まで遡ると言われている竹。成長が早く加工も容易である事から、様々な道具や建材、素材として日本人は竹と親しんできました。そして、その特性と意匠性を活かす手法は無数にあり、表現力豊かで日本らしさを表す格好の素材とも言えます。一方で、そのシンプルでミニマルな佇まいは、現代のモダンな空間とも調和し、主張しすぎず、邪魔をしない脇役にもなります。この優れた自然素材は、木や和紙と共に、長らく日本の建築様式を支えてきましたが、持続可能な環境配慮が求められる現代、そして未来の建築素材ともなる可能性を秘めています。

京銘竹～図面角竹格子

竹を丸ではなく四角形に成形し生育させる京都の銘竹の一つである図面角竹(ずめんかくちく)。WAZAIでは、それを輪切状にカットし金属ロッドを通して繋ぎ、格子パネルとしました。組子格子とは違った趣で、透け感のあるパーテーションとしてなど、様々な用途で使用できます。



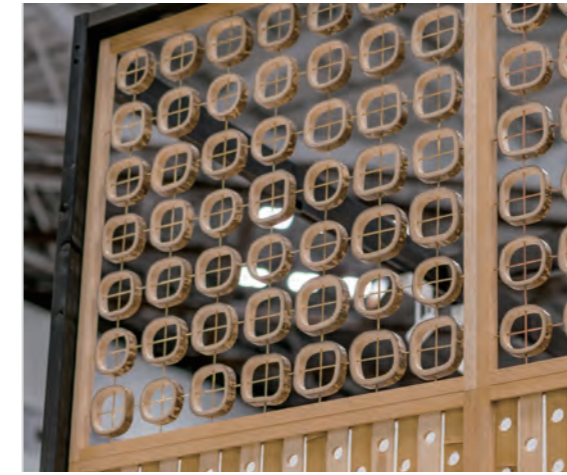
桁割竹パーテーション

垂直方向に割いて製材した竹を平行に並べ、木フレームを付けパーテーションとしました。ランダムに入る竹の節の意匠が、透けながら空間を間仕切る事で、重層的な奥行きを空間に生み出します。



真竹+竹製照明器具 天井造作

真竹をグリッド状に組み合わせ、天井に段差を生み出し、同じく竹ひごと和紙で作られた照明器具を配し、天井の意匠造作としました。シンプルな素材である竹を反復させることで、美しくも強い、存在感のある意匠として宴会場の空間を華やかに彩ります。



京銘竹「図面角竹」格子
900×900×t25mm オーダーサイズ製作可



丸竹 格子
900×900×t25mm オーダーサイズ製作可



丸竹+組紐 格子
900×900×t25mm オーダーサイズ製作可



丸竹+金属ロッド 格子
900×900×t25mm オーダーサイズ製作可



平割竹 腰パネル
900×900×t25mm オーダーサイズ製作可

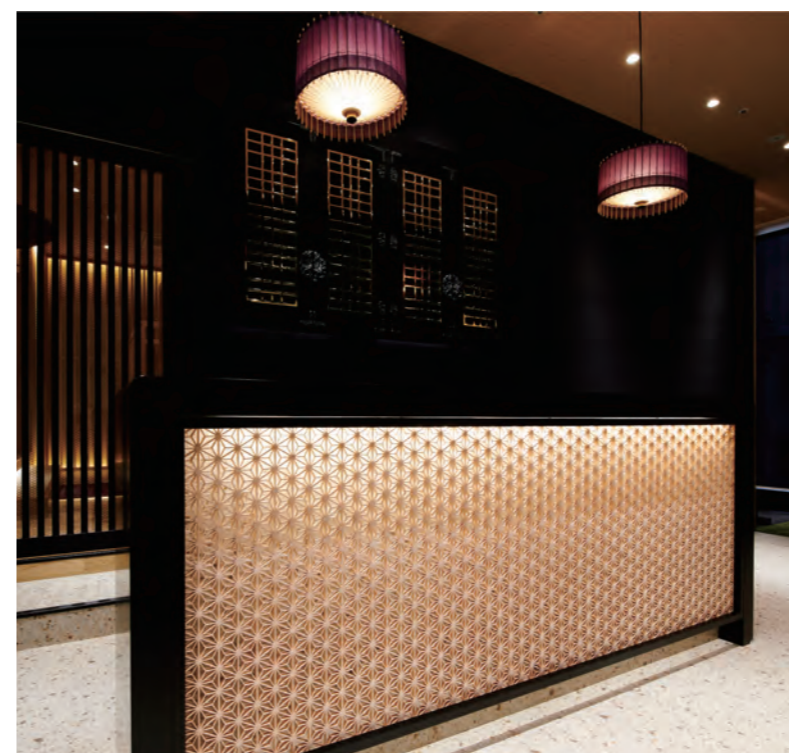
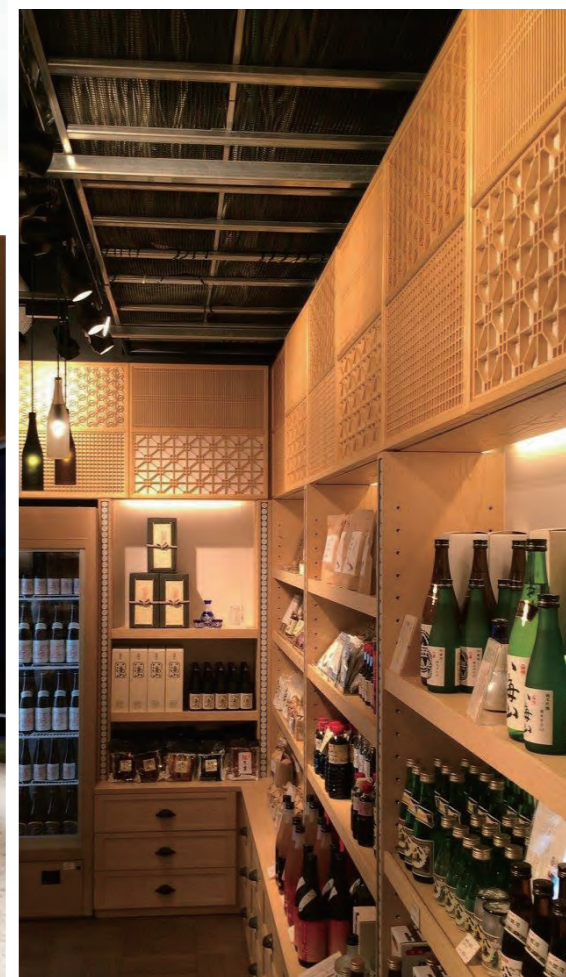


ひしぎ 白竹パネル
900×900×t25mm オーダーサイズ製作可

WOOD



自然木の素材は、同じ樹種でも、色の濃淡や木目がひとつひとつ異なり、天然素材が持つ唯一無二の味わいがあります。日本の木工芸には、指物(さしもの)、挽物(ひきもの)、刳物(くりもの)、曲物(まげもの)などの技法があり、これらの技術は太古の昔から今日まで営々と継承され、時代と共に発展を遂げてきました。京都では洗練された繊細さが特徴の、京指物が有名であり、多数の技法を駆使することにより500種類以上の製品を作ることができると言われています。卓越した技術で生み出される商品は、強い存在感と輝きを放ちます。



歴史に根差す木工技術と素材。 唯一無二の存在を創り出す。

WAZAIで扱う、木の技術と素材は多くの物語や歴史を持っています。インテリア、建築において欠かすことの出来ない、まさに必要不可欠な素材「木」。その素材や加工において、日本(京都)の歴史や文化、伝統を背景にした物語を背景にしており他にない素材のラインナップを持っています。家具はもちろん、空間のあらゆる場面にその特性を活かし使用することで、主役から脇役まであらゆる存在となり得ます。

北山杉磨き丸太 内装材 / 家具

京都市北部の北山地方は、古くから杉を特殊な方法で植林、育成し、「シボ」と呼ばれる特色ある木肌の「北山杉」として育て、さらに、この土地の滝壺にある「菩提の砂」で丸太に磨きをかけ、光沢を出す技法を伝えてきました。その結果、北山杉は日本建築における和室の床柱として広く普及しました。WAZAIでは、この北山杉の磨き丸太をデザイン化し、家具や内装材として提案しています。自然の木肌のままの表情を活かす他に、染色や漆塗り等の加工により、世界的にも類を見ない独特の表情と艶が魅力的な素材となっています。



京仏具 木組み彫金テーブル

WAZAIでは、京仏具や仏壇を制作する技術を用いたデザイン家具も提案しています。仏具仏壇は、木工、金工、漆芸など多くの技術が使われる総合芸術と言われており、その中の木工技術と意匠性の高い彫金金物を組み合わせた、オリジナルテーブルを製作しました。日本建築の木組みからインスパイアを受けた構造美と、アクセントとして魚子(ななこ)打ちと呼ばれる彫金金物が存在感のあるプロダクトになっています。



唐紙版木 建具

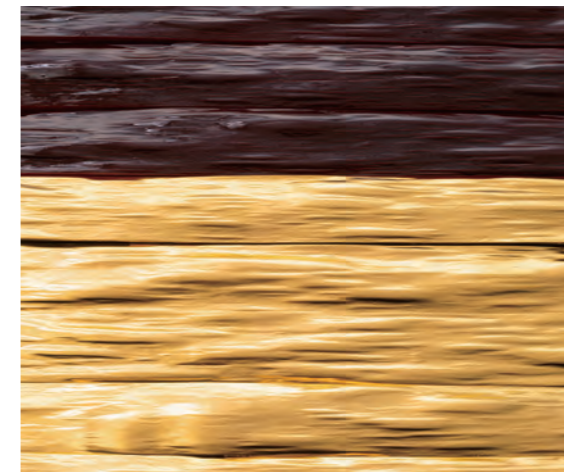
ふすま紙に多用されてきた「京唐紙」を刷るための版木(はんぎ)。その版木を面材として建具に貼り込み、同柄の唐紙とも貼り合わせたデザイン建具としました。壁紙のページでも触れている様に、唐紙には無数の絵柄のアーカイブがあり、その絵柄の数だけ版木も存在しています。絵柄と色の組み合わせで、様々な平面の表現が可能であり、建具のみならず、家具や内装材など、幅広く使用することが可能です。



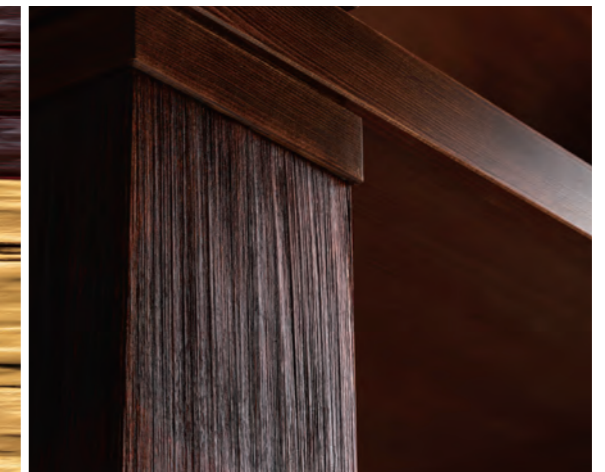
北山杉磨き丸太 ナチュラル仕上げ



北山杉磨き丸太 黒塗装仕上げ



北山杉磨き丸太 上：溜漆仕上げ / 下：金箔仕上げ



仏具技法「なた割り」板漆仕上げ



唐紙版木 建具仕様



唐紙アートパネル仕様

CERAMIC

陶

陶土を原料として成型を行い、釉薬（ゆうやく）で覆い、焼成したものが陶器と呼ばれます。陶器を板状に成形した物を陶板と呼び、釉薬をかけて焼いた部分は表面がガラス化し、ツルツルとした手触り、釉薬をかけていない部分はザラザラした手触りになります。釉薬の有無により、見た目の印象や、触り心地が異なり、壁装材や装飾アートパネルとして、重層的な表現が可能です。釉薬には銅、鉄、マンガンなどの酸化金属が使われ、色柄や焼味など、多様な表現が可能です。食器、花器、壁装材、アートパネル等、様々な用途に使用できます。



京の黒、茶の湯の黒。
文化と歴史を纏う黒を空間に取り入れる。

千利休が考案し、初代楽長次郎に焼かせた黒楽茶碗。茶の湯の来歴から始まる、京の楽焼(らくやき)。WAZAIでは、その歴史、文化を継承し、一点一点、手捻りで成形し釉薬をかけ、焼き上げたオリジナルのオーダータイルとして表現しました。一つとして同じサイズ、色がない、そのニュアンスと奥行き豊かなマテリアル感は無限の使用法を生み出しています。様々な手法で空間のアクセントや主役として使うことが可能であり、既製品タイルでは生み出せない強い存在感を放ちます。

黒楽 正形タイル

厚めに成形され表面にも表情のある陶板のベースに、たっぷりと掛けられた黒釉が深みを生み、唯一無二の存在感となっています。サイズ違いも含めランダムに配し、敷き詰めるのではなく余白を残す、アーティステックな陶板の表現にチャレンジした施工例です。



黒楽 銘板タイル

雪の積もる山並みに見立てた意匠と客室の部屋番号を、釉薬をかけない素焼きの生地で表現し、客室ナンバーの銘板としました。自由な表現と対応力で、どこにもないオリジナルのプロダクトを生み出すことができます。



黒釉流し掛け 丸陶板

様々なサイズの手捻り丸陶板に黒釉を流し掛けし、ランダムに壁面に配置した陶板アートタイル。茶道の世界で守破離(しゅはり)と呼ぶ、自由な表現はモノクロのアクションペインティングアートと言えます。



黒楽 正方形陶板タイル
100×100×t15mm 最大 250mm 程度まで製作可



白楽 正方形陶板タイル
100×100×t15mm 最大 250mm 程度まで製作可



赤楽 陶板ブリックタイル
210×70×t15mm



黒楽 釉抜き銘板タイル
200×200×t20mm



黒釉流し掛け 丸陶板
100φ、150φ、200φ t15mm

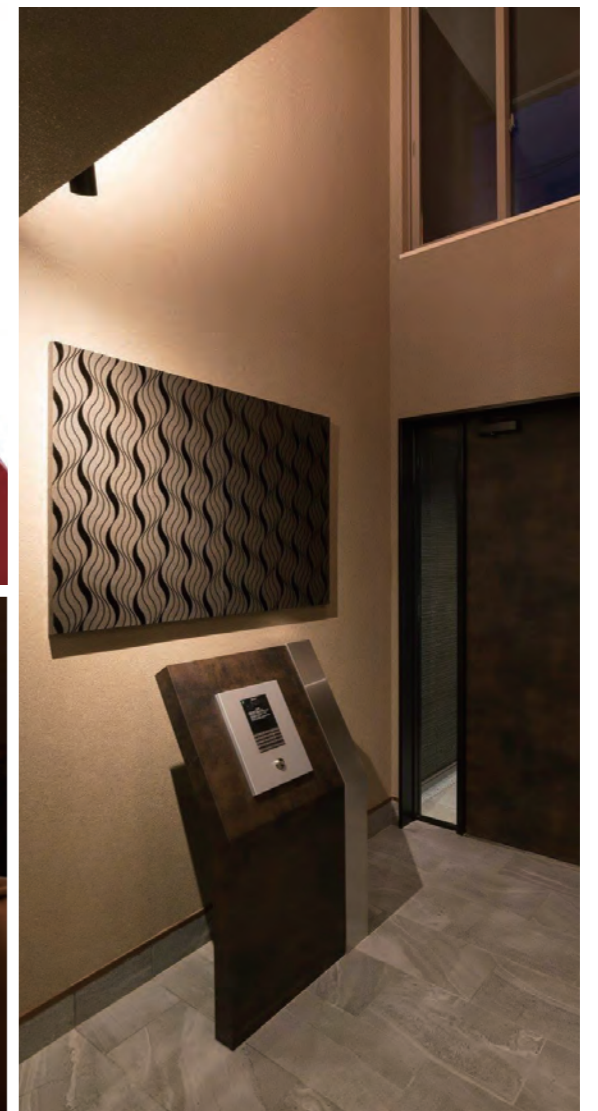


京焼 花結晶タイル
300×175, 190×130, 130×85, 80×60mm

LACQUER

漆

時が経つにつれ透明感を増し、光沢が深まっていく漆（うるし）。時間の経過と共に澄んでいく色合いが、高級感を高めて行きます。漆は縄文の時代より、装飾品に使われて来た、歴史と伝統のある素材です。時間が経つと色が透き通るように深みを増し、光沢も高まる特性があり、化学塗料では表現出来ない、時の移ろいと共に変化する高級感を演出。漆は非常に強固で頑丈なことから防腐、防水、抗菌等の性質を生かして、高級家具等にも使われてきました。京漆は、雅やかな公家文化の調度品類や、由緒ある寺社仏閣建築にも多用されています。WAZAIが提案する漆芸技術は、伝統技法と現代デザインを組み合わせ、伝統美から現代アートまで、幅広く表現可能です。美しさと実用性を兼ね合わせた「漆」は、ラグジュアリーな空間演出に最適です。



長い歴史の中で、いつの時代にも彩りと華やかさを演出して来た、
天然塗料である漆。その豊富な表現手法を、現代の空間表現に取り入れる贅。

主にアジアにおいて用いられてきた漆は、特に日本において最高級の技術として昇華され、高い品質と芸術表現を極めた仕上げ素材です。一般的にイメージされる黒や赤、朱色に限らず、その色合いやテクスチャーの美しさと、表現方法の奥行きと豊かさは、美術品、工芸品などにも欠かせない存在であり、寺社仏閣等の建築美にも多用され、時にはシンプルな詫びた美しさから、一方では極彩色で絢爛豪華な表現まで、無限ともいえる表現の幅を有します。WAZAIでは、圧倒的な豊かさを誇る漆仕上げのアーカイブを有し、この漆を内装空間や家具、調度品類等を「装う」多様な技術や意匠を提供することが出来ます。そこには京漆器などの長い歴史で培われてきた、様々な仕上げの技と知恵があり、空間に無限の深みと広がりを与えることが可能です。

漆壁装アートパネル/箔摺り仕上げ

壁面装飾用アートパネルを、箔摺り（はくすり）と呼ばれる本金箔を使った漆技術で仕上げています。漆の光沢と高級感に加えて、金箔の持つ煌びやかさを壁装表現に加えることが可能となっています。この仕上げ方法は、WAZAIの漆技術アーカイブ「Cosmos/天体」シリーズの一つで、天体の持つ深み（漆黒）とそこに、星々の煌めき（金箔）が重なり、奥行きと創造性を感じる表現となっています。



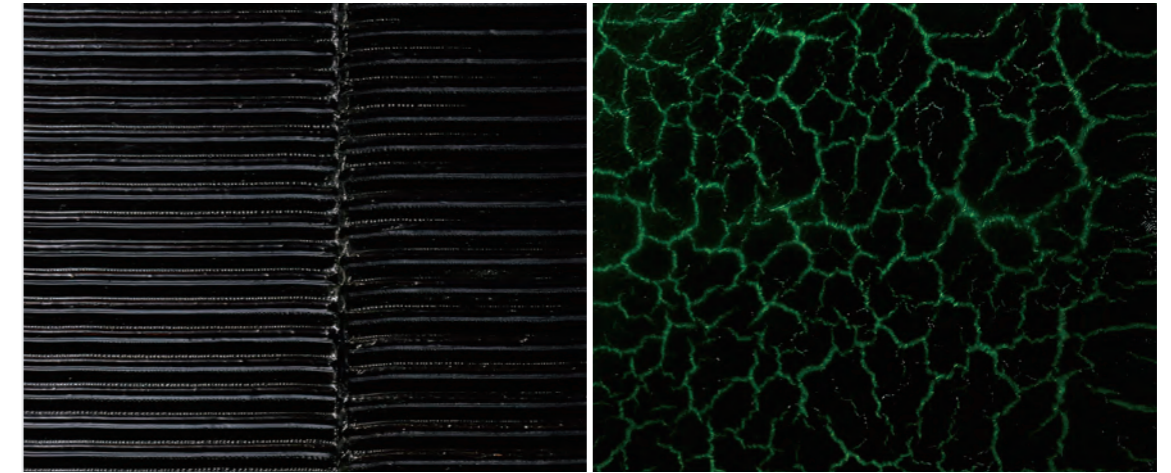
黒漆/クラック仕上げキャビネット

国際的に活躍するパリ出身の家具デザイナー「Garnier & Linker」とのコラボレーションにより、ロンドンにある高級邸宅に納品した特注家具です。家具工房で特注制作した木製キャビネットに、全面黒漆の仕上げを行っておりますが、黒漆の表面に微細なクラック加工を施しており、表面の質感はまるでビンテージ・レザーのように仕上がっています。

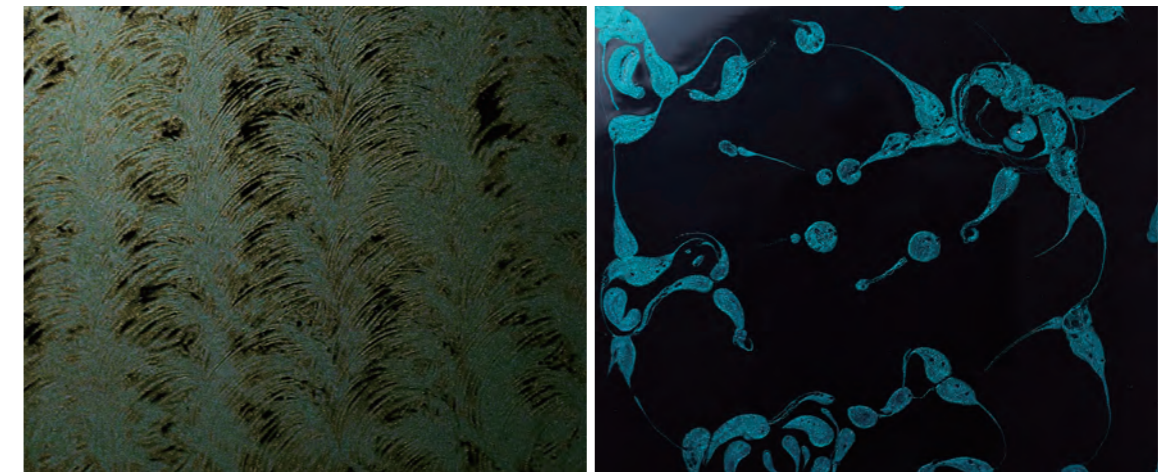


漆唐紙

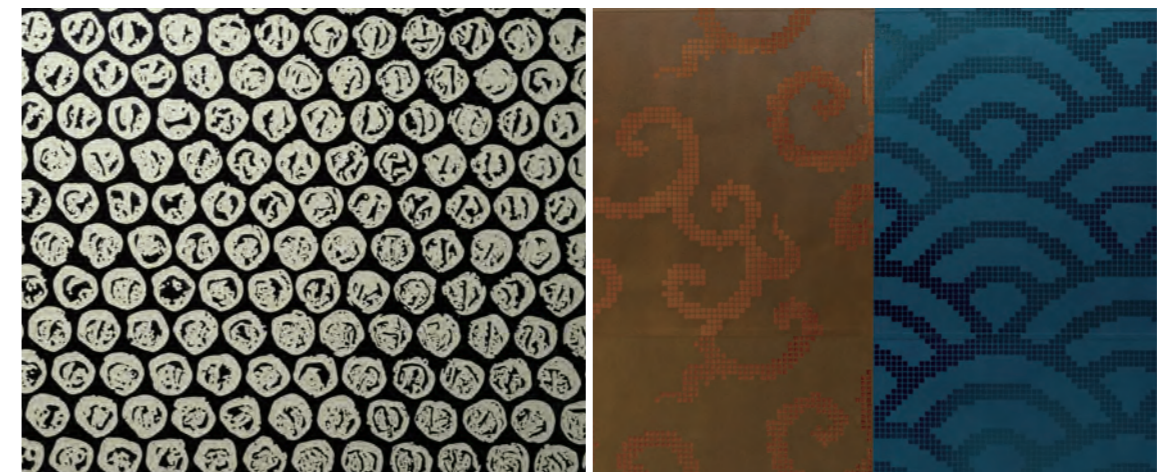
版木を使い、絵具を和紙に刷り込んで、多様な絵柄を表現するのが通常の唐紙ですが、絵の具の代わりに、漆を含む顔料で刷るのが漆唐紙です。特殊な技法を用い、絵柄の中で漆の光沢を残す部分と、和紙に漆を吸い込ませてマットに仕上げる部分とのコントラストを際立たせる事で、漆という素材の持つ独特の艶（光沢）と深みが、一般的な唐紙よりもラグジュアリーな雰囲気演出します。



漆 刷毛目盛り仕上げ 刷毛地(膠・練り炭)、漆 漆 クラック仕上げ 漆、卵白



漆 叩き塗り仕上げ 刷毛地(膠・練り炭)、漆、アクション 漆 油滴仕上げ 刷毛地(膠・練り炭)、漆



漆 変わり塗り仕上げ 漆、アクション 漆 唐紙 ベース色+摺色オーダー製作可

WASHI PAPER

和紙

千年以上とも言われる優れた保存性を持ち、世界中の文化財の修復にも使われる、日本を代表する天然素材である「和紙」。主に楮(こうぞ)や三桠(みつまた)、雁皮(がんび)という植物の繊維から作られる和紙は、産地や技法により、多様な個性と美しさを持っています。荒々しい植物繊維を大胆に残したアーティステックな創作和紙から、書画用のきめ細かで、滑らかな紙肌の画仙紙まで、数多くのバリエーションがあり、天然素材ならではの1枚1枚微妙に異なった風合いが特徴です。WAZAIでは、多様な和紙の豊富なアーカイブを備えており、デザイナーやクリエイターの要望にお応えします。近年では照明器具のシェードや光壁として明かりの灯し方や、透かし方により、光のコントラストを調整し、美しさの表現に奥行きを与える事が出来ます。陰影礼賛に代表される、日本の伝統美を具現化する「和紙」は現代的なデザインにより、障子や襖はもちろん、壁紙や光壁、デザイン照明など、インテリアシーンの可能性を広げます。



和紙という無限で変幻自在な和の素材。

その特性である柔らかさ、やさしさは誰しもの心を癒します。

日本人の心や、アイデンティティーを表すと言っても過言ではない和紙の存在。襖や障子、屏風などの住空間だけでなく、書画や懐紙、和傘や提灯等、身近な暮らしの中で、あらゆる道具や生活必需品の素材として使われ、欠かすことの出来ない存在でした。WAZAI では、和紙が持つ自然素材ならではの、和みや温かい雰囲気的空間にご提案します。その透ける特性は光を和らげ、包み込む様な優しさを演出します。

和紙壁紙

和テイストのある、現代的なホテルのロビー空間に使用された和紙壁紙の施工事例です。表面に自然な厚みの違いを持たせた和紙の表面は、光を透過させる事で微妙な陰影を浮かび上がらせる事が出来、間接照明には特に効果的な受容体であると言えます。和紙壁紙は様々な種類、表情があり、光の表現と合わせると無限の空間イメージを生み出す事が出来ます。



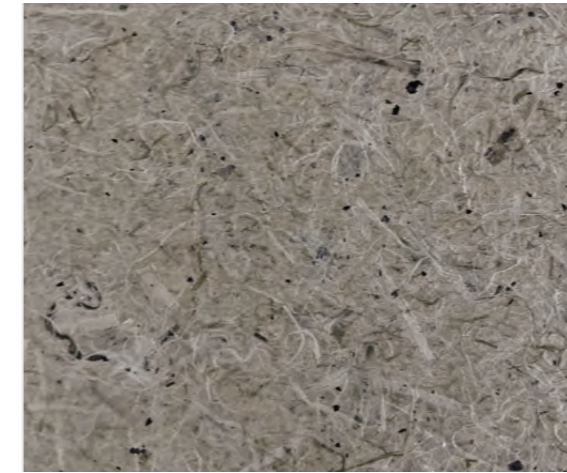
特注和紙照明

和傘の素材と技術を転用した、特注デザイン照明制作事例です。竹と和紙という、日本を代表する天然素材を組み合わせた特注照明は、繊細な竹骨の影と、柔らかく拡散する光のコントラストが特徴で、光を優しく柔らかく拡散する繊細な機能を持ったアートオブジェとも言えます。使用する和紙によって表現の幅も多様に变化出来、和洋問わず、様々なインテリアシーンに調和します。



キャビネット/柿渋和紙仕上げ

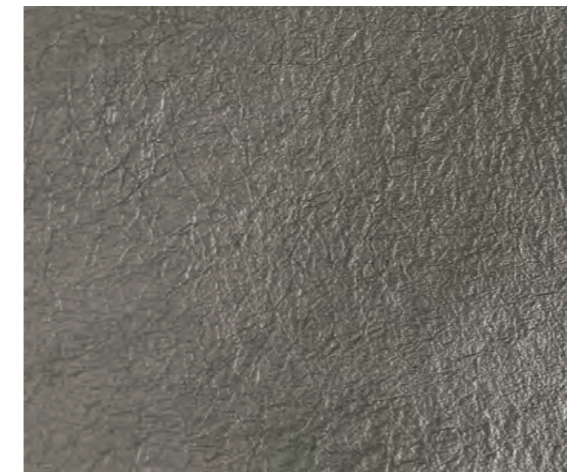
フランス人デザイナーと開発した、柿渋和紙を全面に貼り込んだ木製キャビネットの制作事例です。柿渋という天然染料が、和紙の紙肌の表情を浮き立たせ、微妙な色の濃淡と、温かみを意匠的に取り入れる狙いと、防水・防虫・抗菌効果という機能性をもちます。また、和紙の耐久性を高め、経年による柿渋特有の色の変化(紫外線による酸化促進の為、色が深みが増す)も楽しむことが出来、暮らしの中で、長く付き合うことのできる存在となります。



皮楮雲竜紙



水滴紙楮入り 小柄



黒谷紙衣原紙 (黒)



麻落水紙未晒



黒谷チリ仙貨 薄口



備長炭入り和紙

FABRIC

織・染

織物は、糸の組み合わせや、織り方の技法により、織細さや華麗さを秘めた多彩な織柄の表現が可能で、古来より着物や帯等として親しまれて来ました。染物は、様々な染料や捺染技法により、美しく色とりどりの絵柄が表現でき、着物はもちろん風呂敷やのれん等、日常的に使われて来ました。WAZAIでは、サイズ・素材・色・デザインまで、オーダーメイドの自由度が高いテキスタイルで、オリジナリティのあるインテリア商材を提案します。



国指定伝統的工芸品を空間に。

日本の布の歴史とも言える京都の染織を使う意味と意義

日本の染織技法の起源については、今ではっきりとした事は分かっていませんが、弥生時代には既に染織の道具が発見されています。その後日本の国が形作られていく中で、京都は都として発展し、日本の染織技術の中心地として、今もその歴史と文化を継承し、日本の布といえば京都の染織がルーツといえます。素朴な草木染の平織から、表情豊かなちりめん織物、金糸、銀糸を織り込んだ絢爛豪華な西陣織まで、その豊富さは枚挙にいとまがありません。この貴重な歴史、文化を有するテキスタイル素材を使用することは、着物を中心とする日本文化の継承に寄与することにもつながります。

西陣織 織物アートタイル

絢爛豪華な西陣織の布をサイズ違いのタイル状に製作し、それをランダムに壁面に配し、空間のアクセントとしました。金糸、銀糸を多用した、金属光沢を有する織物は、背面の暗色との対比と照明の演出で、雅やかな輝きを見せ、空間全体をシックな高級感で装います。



京友禅 布張り建具

京都の伝統的な染物技術である京友禅(きょうゆうぜん)の古典柄アーカイブの中から絵柄をセレクトし、大柄の現代紋とミックスした特注染色生地を、部屋の間仕切り戸に障子風に貼りこみました。古典とモダンの融合で現代空間と調和する「和」を表現しています。



西陣織 家具用テキスタイル

帯地で有名な西陣織の技法を用いながら、堅牢度の高いポリエステルで織ることで、椅子やソファ等の耐久性を求められる家具にも使用できます。その織柄のアーカイブは無数にあり、一般的な家具用テキスタイルとは一線を画す、唯一無二の生地として、独自の空間演出が可能となっています。



西陣織ファブリックタイル 150×150, 150×300, 300×300mm
柄選定及びオーダーサイズ製作可



西陣織挟み込みガラス天板
柄選定及びオーダーサイズ製作可



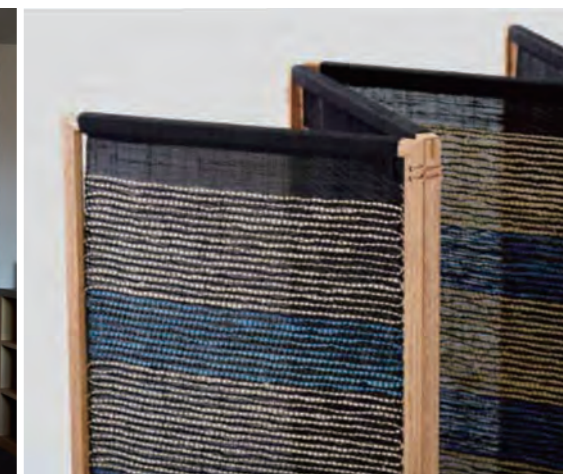
ポリエステル西陣織 椅子生地 生地幅:700mm
カーテン、ベッドロー、クッション張り等にも対応可



絞り染めレザー
椅子生地 色・柄特注制作可



京染色布
古典柄 / 古典 + モダンミックス柄 オーダー可

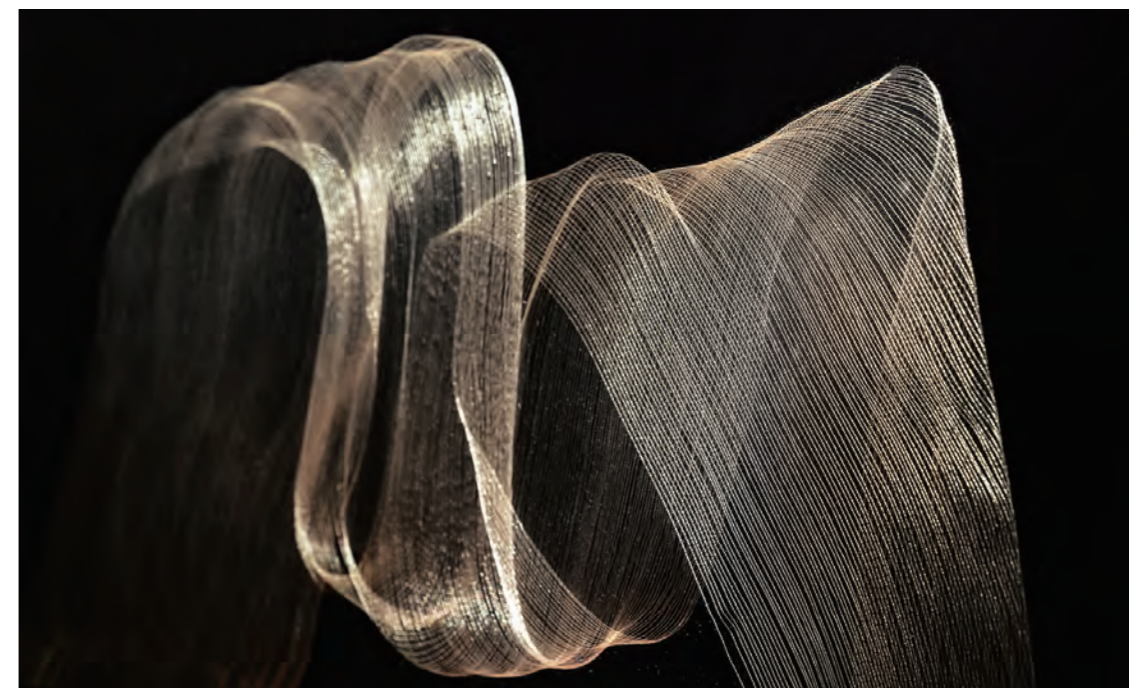


古代布 藤布 間仕切りスクリーン

SILVER&GOLD

金銀糸 ・箔等

金箔、銀箔を漆等で和紙に貼った素材を裁断し、糸状に撚ったものを伝統的な金銀糸と言い、近年は純銀蒸着、アルミ蒸着等の技法で作られた金銀糸もあり、西陣織等の高級和装や刺繍等に使用されてきました。平安時代から続く「祇園祭」には、多くの山鉦と呼ばれる山車が登場しますが、これらを装飾する絢爛豪華な織物や幕にも金糸は多用されるなど、伝統美を現代に伝えています。金箔、銀箔は、金銀を槌で叩いて、極限まで薄く延ばし箔状態にしたもので、漆と共に仏壇仏具、金屏風や表具、多くの工芸作品の加飾等に使用されてきました。京都の「金閣寺」が有名ですが、全国の寺社仏閣に金銀箔は使われており、日本の建築美術を彩っています。WAZAIでは、金銀糸、金銀箔の豊富なアーカイブと職人のネットワークを有し、現代のインテリア空間を華やかに演出する、様々な素材や技術を取り揃えています。



雅から詫まで表現の幅が広い、金と銀。

佐渡の金山に代表されるように、「黄金の国ジパング」として世界的に有名だった日本は、同時に世界有数の銀の産地でもあり、一時は世界の産出量の1/3を占める程の「銀の国」でもありました。その希少性と高価さから、高級な美術品、工芸品の制作に必要不可欠であった金・銀。それらは金糸、銀糸や金銀箔など、様々な素材や技術を用いて、日本の建築空間に取り入れられて来ました。その輝きを活かした絢爛豪華で「雅」な表情、また燻(いぶし)や焼箔(やきばく)と呼ばれる技法により、その光沢をあえて抑えることで、日本固有の伝統美の一つである「詫び」な表情を作り出すなど、「雅」と「詫び」、その両極端な伝統美を、現代の空間に素材、意匠として取り入れることで、幅広い美的表現が可能になります。

金糸入り絹ガラス

金糸を含む極薄の絹織物を、ガラスに挟み込んだ「絹ガラス」。絹織物に織り込まれた繊細な金糸の織柄模様は、それだけで上品な表情を見せますが、照明のあて方で、更に金光沢の煌めきを演出出来ます。



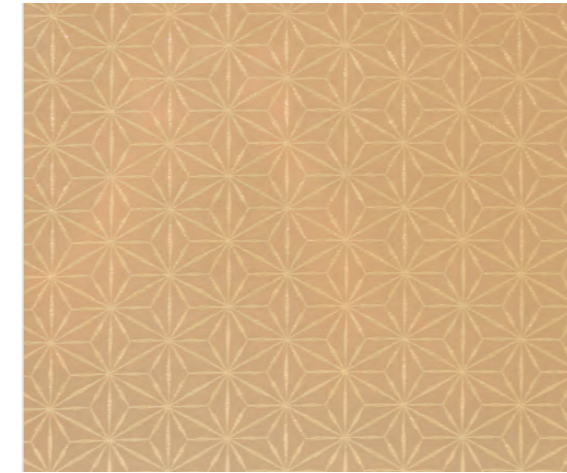
焼箔(銀箔)パネル

焼箔(やきばく)は、銀箔を高度な伝統技術で変色させた素材です。銀を硫化させる事で、色が変わる性質を利用したもので、和紙に貼った銀箔に、硫黄分を多く含んだ紙や布をあてたり、硫黄の粉をかけた上から熱を加えて変色させ、侘びた味わいを引き出すための方法です。焼箔は日本画や襖などの建具、調度品にも用いられます。その焼箔をアートパネルやテーブル天板など、様々なインテリア商材に展開することが可能となっています。



仏具由来金細工

京仏具で用いられる彫金等の金銀細工の技術を使い、縁起の良い吉祥文様を意匠として取り入れ、特注インテリア・ミラーと飾り棚を制作した事例です。京都は寺社仏閣を多く抱える地域であり、仏具や神祭具には金、銀を使った様々な装飾が施されてきました。WAZAIでは金銀を用いた素材、技術、意匠の豊富なアーカイブでクリエイターの創造性を支援致します。



絹ガラス(金糸入シルク挟み込みガラス)麻の葉



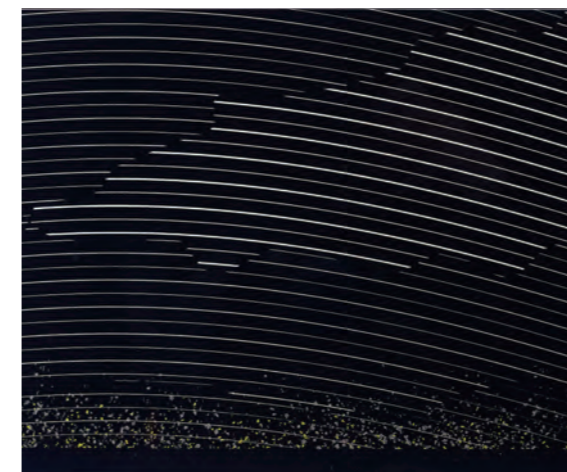
絹ガラス(金糸入シルク挟み込みガラス)よろけ



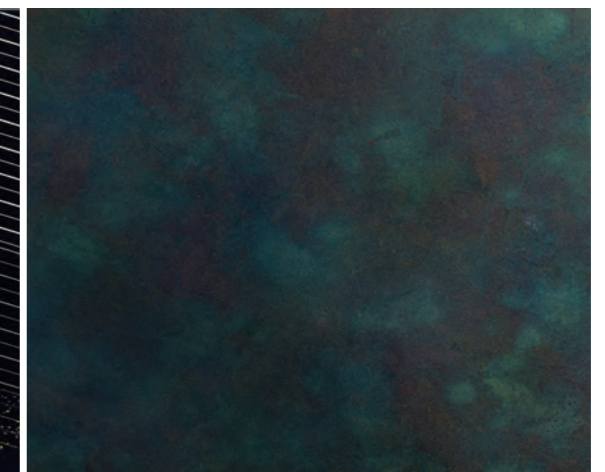
絹ガラス(金糸入シルク挟み込みガラス)水紋



焼箔仕上げ



銀ライン、金箔、銀箔 散らし仕上げ



青箔、銀箔、色箔仕上げ

WALL PAPER

壁紙

広義には、建築物において壁や天井の内装仕上材として用いられる、布・紙やビニールでできたシートが壁紙と呼ばれています。壁紙はおもに、壁や天井の保護や装飾などを目的とし、内壁下地材の表面を覆う形で施工されます。その起源は諸説あり、中国やヨーロッパが発祥の地とされています。日本には平安時代に中国より伝来し、最初は屏風や襖として発展し、その後現代のような壁紙として使われるようになりました。明治初期には、日本独自に発展した和紙壁紙が、主に輸出用に生産され始めました。WAZAIでは、京都ならではの織物や和紙、唐紙の技術で作られたクラフト感の強い、個性的な素材を多数取り扱っています。



日本ならではの技術や意匠で作るクラフト壁紙。 その素材の新たな表現を求めて。

WAZAI の取り扱うクラフト壁紙は、他にない拘りを持った素材や技術、意匠で作られています。機能性を持った壁紙ではありますが、画一的なプリントされたビニールクロスには無い質感や表情、手触り感が特徴であり、アートやクラフトの感性が感じられる芸術作品のような個性を持ち、無限の空間表現を可能にします。

織物壁紙

テクスチャー感の豊かな織物壁紙を、パターン貼りで切り返し、モダンな空間と調和させています。遠目にも分かる立体的な素材感が、シンプルな空間構成に奥行き、深さを与え、日本の情緒を備えたラグジュアリー感を醸しだしています。



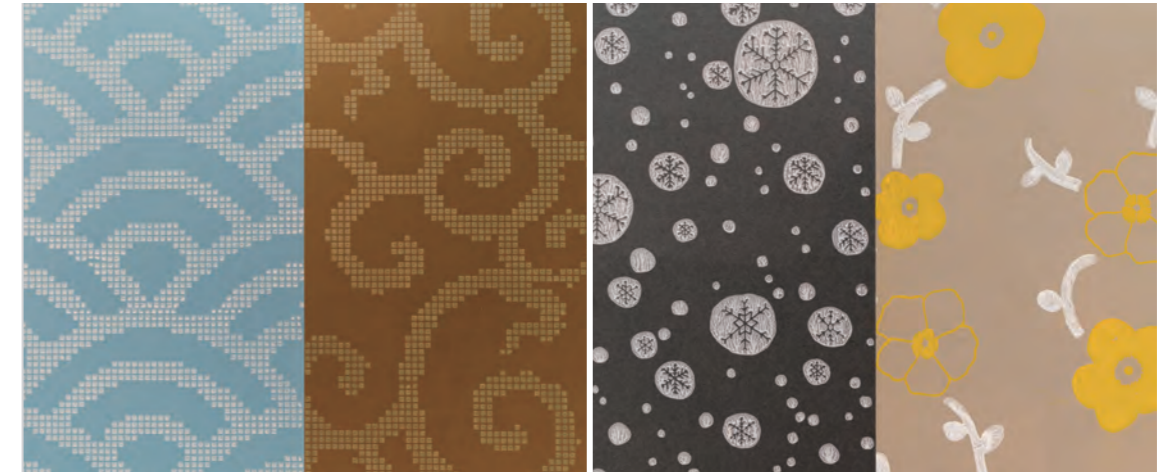
オリジナル現代柄 唐紙

版木（はんぎ）と呼ばれる絵柄を彫った木の板に、光沢のある雲母（きら）や胡粉（こふん）等を交えた伝統的な絵の具を乗せ、和紙に手で模様を擦りこむのが唐紙です。数百種類の絵柄と刷り色の組合せを変えると、無数の表現が可能です。現代的なオリジナル柄の制作も可能で、和紙の表情と、手刷りの掠れ感が温かみを生み出します。



立体貼り分けアートパネル

WAZAI では、豊富な素材や意匠のアーカイブを用いて、様々な色柄、テクスチャーの壁紙ラインナップを揃えています。その壁紙を立体的なオブジェに貼り分け、ベッドボード上のアートパネルとして施工しました。単純に平面的な壁に貼る以外の新たな試みとして、インパクトのある空間表現を可能としています。



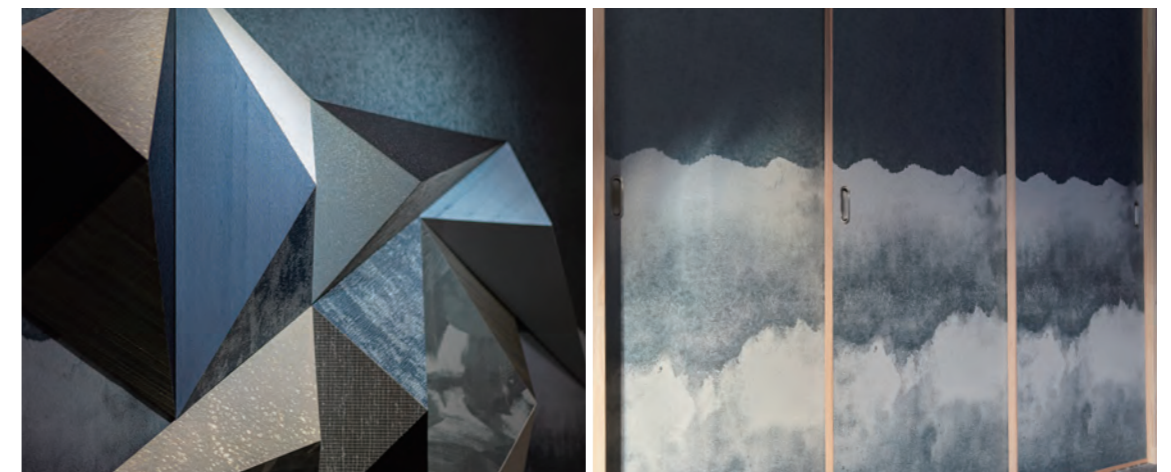
現代柄（古典柄をデジタルドット化）唐紙
ベース色+摺色オーダー製作可

現代柄（北欧モダン柄）唐紙
ベース色+摺色オーダー製作可



不燃 / 準不燃 織物壁紙

不燃 / 準不燃 織物壁紙



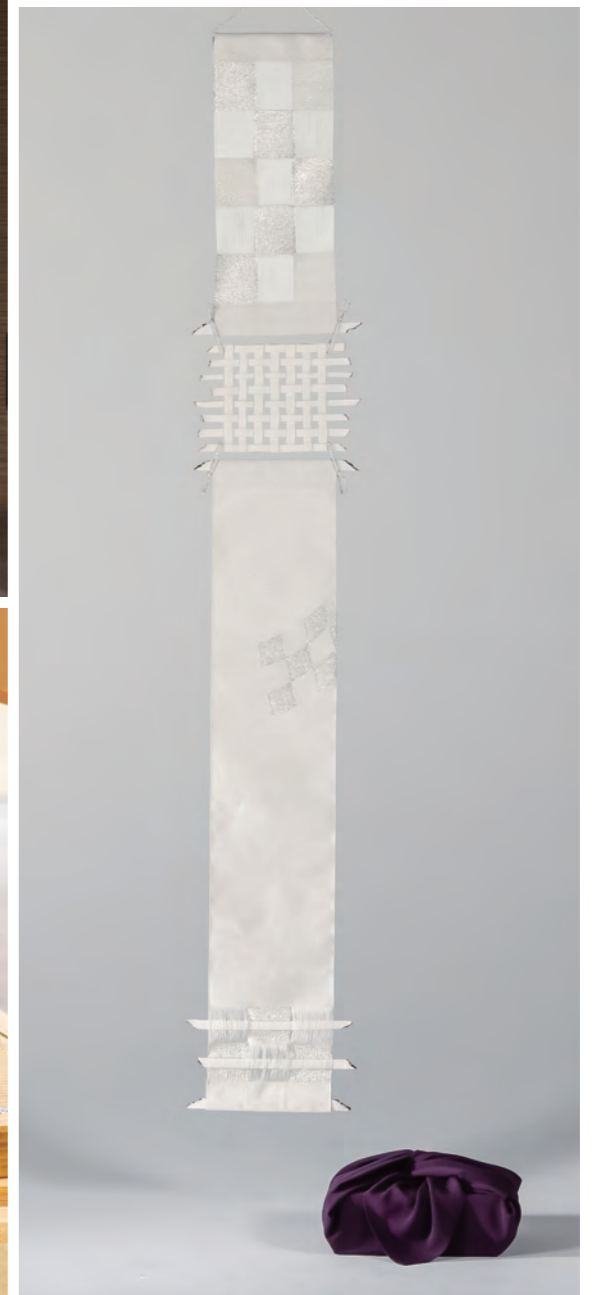
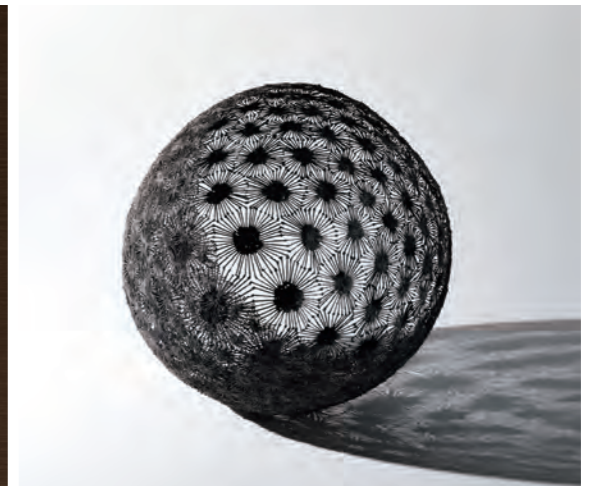
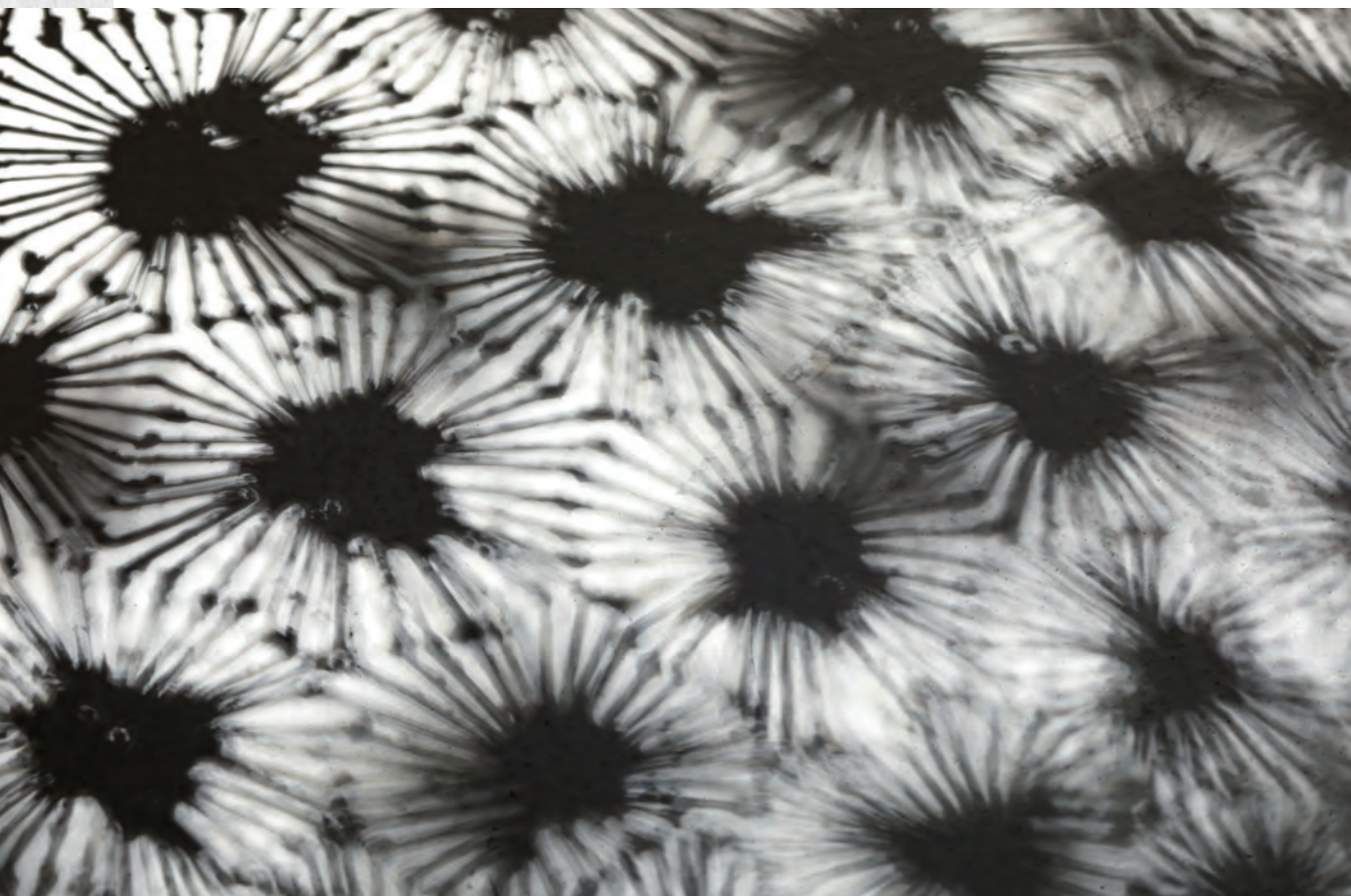
壁紙 立体貼り分けアートパネル

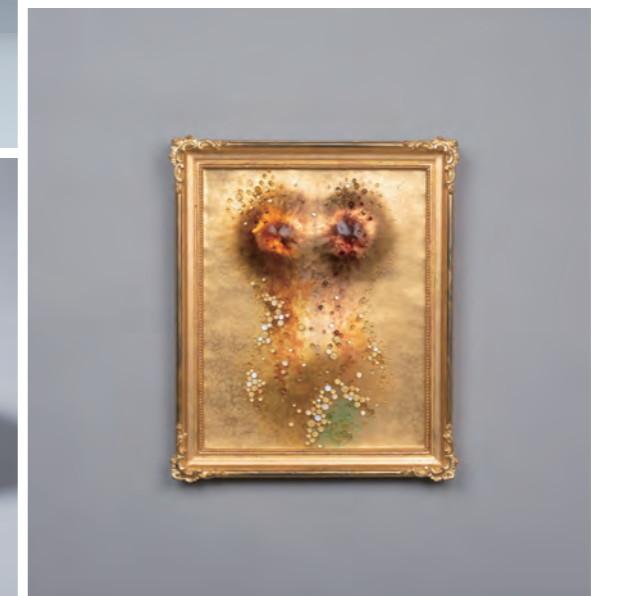
オリジナル柄出力壁紙 建具貼り

ART WORKS

工芸 アート

応用美術、装飾美術などとも言われる工芸アート。素材や技術に定義はなく、工芸の要素を背景にした全ての創作物が該当するが、工業生産と美術を結びつけ機能性を重視したものは近代工芸と呼ばれます。それに対して、機能性は意識せず、鑑賞性を主体に、美術面やアーティストステートメント等作り手の内面も重視した創作物は、絵画や彫刻と同様の展開をみせており、現代アートに近い作品も多く発表されています。また、伝統的な美術工芸の分野も、世界的に再評価がなされ、アート市場全体が盛り上がりを見せています。WAZAIでは、伝統的素材や技術、意匠を背景にした、美術工芸から現代アート作品まで、多くの工芸作家のネットワークを持ち、その中からインテリア空間に合わせた作品の提案をすることが可能です。

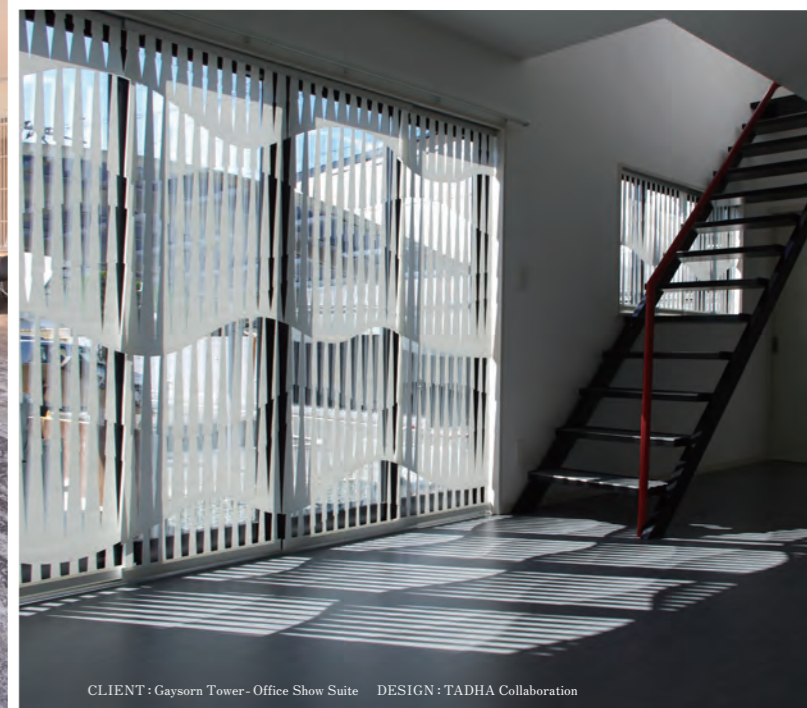
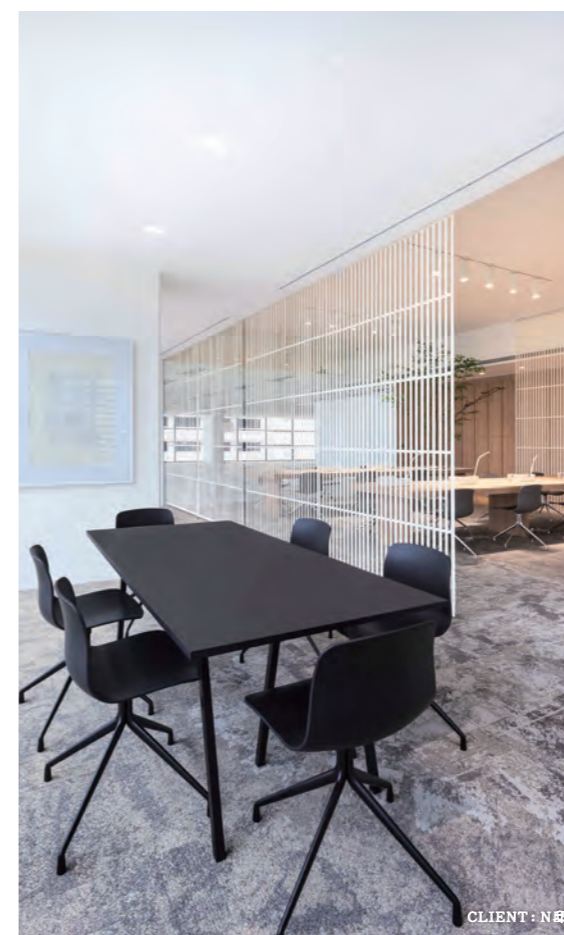




INNOVATION

革新

数多くの伝統素材、技術、意匠を扱うWAZAIですが、新しい技術や現代的な素材、そしてデザインを取り入れたり、国内外のクリエイターやアーティスト達との協業、共創など、新たな取り組みにも挑戦しています。伝統とは「革新の連続」であり、常に新たな挑戦からイノベーションが生まれ、それが社会の中で受け入れられ、やがて次の時代には伝統と呼ばれるものではないでしょうか。WAZAIでは、「伝統」とは営々と続く人の進歩の営みであり、その中から普遍的な価値が生まれ、継承されてゆく、未来志向の意義ある活動であると捉えています。創意工夫や挑戦により、素材、技術、意匠を革新し続ける事が、真の伝統であると信じます。この項では、その事例や挑戦をご紹介します。



レーザーカット・ ファブリックスクリーン

WAZAIでは伝統工芸のみならず、最新技術を導入した商材の取り扱いもあり、デジタルデータにより、レーザーカットしたファブリックスクリーンを制作し、ホテルの客室ベッド上の光壁としての使用をイメージしています。伝統意匠の波と鳥を元に、抽象柄としたモチーフでデジタルグラフィックデータを制作し、出力を調整した専用のレーザーカット加工機で制作しています。



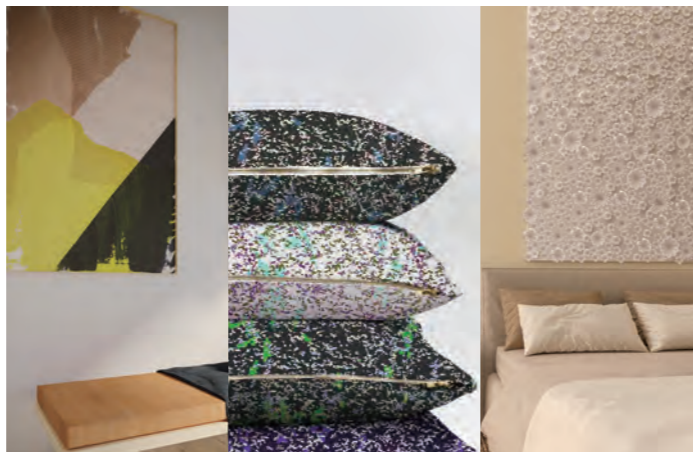
織物封入アクリル製フック

複雑な織柄と色の表現が特徴的なクラフト織物を、特殊な技術を用いたアクリル樹脂で封入し、コートフックを制作しました。柔らかい織物素材を固くコーティングする事で、従来出来なかった表現や製品化を可能にしています。WAZAIの技術ネットワークで、織物と樹脂を制作する異なる2社をマッシュアップし、お互いにはない要素を補い合い、新たな商品を開発をした事例となっています。



日仏コラボレーション開発

WAZAIでは、前身事業の頃より長年に渡り、京都の伝統工芸事業者とフランス人デザイナーとのコラボレーション商品開発や、海外販路開拓事業をプロデュースして来ました。海外デザイナーに、現地目線を取り入れた商品デザインを意識してもらう事で、日本の事業者目線によるプロダクトアウトではない、マーケットインの開発を行う事により、新たな気づきや価値観がもたらされ、海外市場で多くの実績を上げております。



国内若手アーティストとの コラボレーション・ファブリック

転写技術に長けているテキスタイルメーカーと、国内の若手女性アーティストとのコラボレーションによる、テキスタイル開発を行いました。アートへの関心が高まる中、その存在を気軽にインテリアに取り入れられる事を意識し、クッションカバーと、インテリアファブリックパネルを開発しました。存在感のあるプロダクトは置くだけで、若手アーティストならではの感性を空間にもたらしめます。



レーザーカット ファブリックスクリーン光壁
(標準柄 / 竹林)



レーザーカット ファブリックスクリーン光壁
+ 間仕切り (特注柄対応)



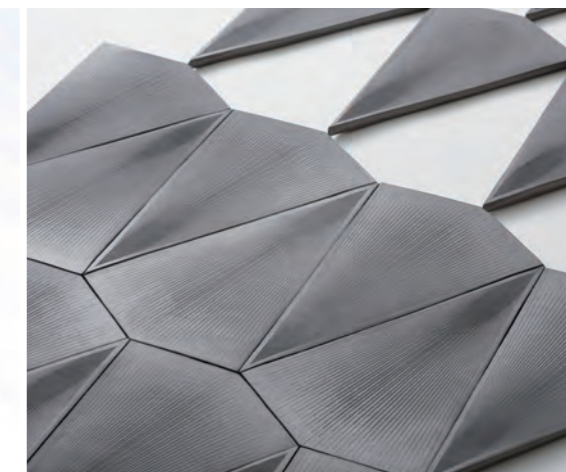
織物封入アクリル製フック



国内若手アーティストコラボ インテリアファブリックパネル



京友禅特殊技術による三重構造のファブリックライト



フランス人デザイナーコラボ 京瓦壁面タイル